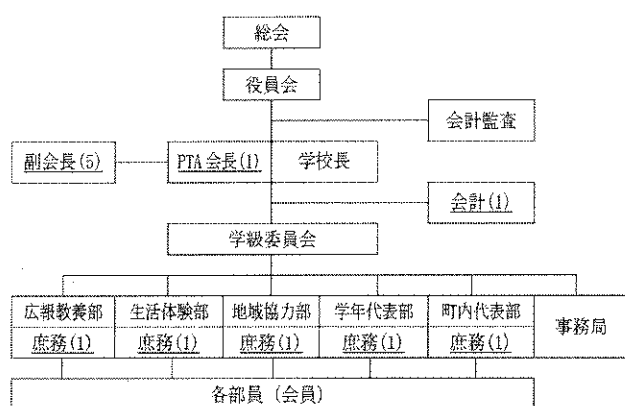


1 岡保小学校のご紹介



- ・福井市東部に位置し、まわりは豊かな水田地帯
- ・校章は一粒の米種子が秋には何十倍にもなることから、躍進を意味
- ・昭和54年から始めた「わらんべ田」のほか、さつまいもや伝統野菜「菜おけ」の栽培など、農業体験を実施

2 岡保小学校PTAの組織



- ・5つの部会に分かれて事業を分担
- ・PTA役員は現在12名

(内訳)

会長1名、会計1名

副会長5名

(次期会長、次期会計、市P担当、地区担当、事務局担当)

庶務5名(5つの部会を担当)

3 岡保小学校PTA各部会の事業

- ・広報教養部 … 広報誌の発刊、教育講演会等
- ・生活体験部 … わらんべ田活動等
- ・地域協力部 … 地区行事等(サマーフェスタ、ふるさとまつりなど)
- ・学年代表部 … 交通安全教室、清掃奉仕、スキー教室、役員選考等
- ・町内代表部 … 危険箇所点検、登校指導、バザー食券対応、資源回収、除雪等

4 PTA活動と「わらんべ田」

- ・昭和54年から現在まで継続(令和2年で42周年)
- ・開始年の「おかぼミニニュース」(PTA通信)より

今の子どもは両親の小さい頃の苦しみや祖父母の尊い汗を流した姿は誰一人として知らないでしょう。感じやすい子ども時代に少しでも親たちの苦しみを子どもの肌を通して感じさせることはとても大切な事と思います。

その意味で今年から学校とPTAとが協力して稲づくりをはじめました。

名前は子供たちが「わらんべ田」と名づけてくれました。

去る5月11日、5、6年生が直接苗を植え、今後草とり、稲刈りと一連の作業を通して働くことよるこび、汗を流すことの尊さを少しでも体験できればと思います。今後の成長を、子どもたちと一しょに見守って行きましょう。

5 昔のわらんべ田の様子

- ・ 5～6年生が稲づくりに参加。
- ・ 田植え、稲刈りだけでなく、草取り、かかしコンクールなども実施
- ・ もち米を栽培し、「収穫感謝祭」でもちつきを実施
- ・ 収穫感謝祭は一大イベント（ステージ発表、もちつき大会、わら細工体験など）



6 最近のわらんべ田

- ・ 3～6年生が田植え、稲刈りを体験
- ・ 農作業指導にJA、稲の管理に「農業組合法人こうすい」の協力をいただいている
- ・ うるち米を栽培（年によってコシヒカリ、ハナエチゼン、あきさかり等）
- ・ 学校行事「感謝の集い」で地域の方々とおにぎりを作って「おにぎりランチ」
- ・ 公民館で「収穫感謝祭」開催（青少年育成市民会議、子ども会育成会、PTA共催）
- ・ お米をマリ共和国に支援米として提供、地元の祭り（ふるさとまつり）で販売
- ・ 収穫後の田んぼで、菜おけの種まき



7 今後の課題

- ・ 農業に詳しい保護者の減少
- ・ PTA会員減少への対応【児童数 S54:小 269名+幼 55名→R2:小 105名+幼/休園】
学級委員を全ての家庭から一人ずつに変更（H28）
PTA役員の選出を投票方式に変更（R2）
町内代表部の活動が特に心配（児童数が少ない町がある）
- ・ 会員の負担軽減に向けて
岡保地区全体で地区行事の見直しを進めている
会議の書面開催など、集まる機会を減らす（交流機会は減少してしまう）